



受領印

極秘 周弁

A-766
1

受領第九二號

秘審羊拾六号

蘭國政府ナシテ今辨理ニ使ハシタルポット氏ヲ解任
セシメ左條、右條を本日即十月三十一日官口口口
通知ニテ大御我目的ヲ達シム後々存々内ホ一々
對話等々類未左々開陳仕々
此、及蘭國政府ノ疑同ハ二件ナリ一ハヒールボルト氏ヨリ
ウエステンベルグ氏ヲ經テ間接ニ告白ニ同氏等ノ私計
ニテモ之々トノ疑圖其ノニハ蘭國偏小日本於テ
其交渉重要ニモカクモら發リ一モ蘭國ニ使招回
請求、今回ニテ第二回ニカクモポット氏於テ僅小ノ
過失アルニセヨ正々日本政府ヨリ其招回請求ト
申込ニ到リ申る者トノ後々カクシ々
本月十九日夕外務大臣秘書官長スミール氏末館

在口口開到日本公使館

政務課
秘書官
之

大正十一年四月
侯爵郵寄

1924



對話時間、涉リテ、日人密話ノ要旨、右二件ノ難問題ヲ反復辯論致シ、中日政府於テポット氏ヲ嚴密に政務を以テ得共ポット氏ニ於テ新舉手勤セシメタル人アリ、即ち東京伊方利公使等ナリ、至國ヲ使連署上書ノ件、照會書ニ實書ノ件トテモ、單ニポット氏ノミテハ、勿レハ、断乎不可動ノ語彙ニカクシク付テ、心官於テ、本年三月ノ内訓ノ要趣意ノミテハ、我目的ヲ達スルニ、遠シ小官ノ返答ニヨリテハ、是近ウエステ、ベルグ氏等ノ努力モ、或モ水泡ニ歸シ、ニ、状況ニ付、スタール氏ニ向シ、小官奉日右事件ヲ商談スルノ委任状多ク、一言半句ノ返答モ出来不申、但一個人ノ資格ヲ以、夢物語リ

ヲ呈スヘシ、假リ、佛國政府ヲシテ、ガニベツタ氏ヲ公使ニ命シ、日耳曼國へ派遣シ、タラシ、曼國政府ノ感觸、如何なるを、曼佛兩國交渉ニ、結果之ヲ佛國於テ得策ナラシ、或ハ使ノ人質、海軍ノ重要ノモノナリ、未雨ノ綢繆、緊要ニシテ、結果、枝葉ノ辯護、實際於テ、裨益ナシ、且又ガニベツタ氏、非奉アリ、タラシ、曼國政府於テ、其の舉手ヲ直接ニ、告白スルヲ以、良策トスル、或ハ然ル、佛心政府、未タ、徳省不致ト云フテ、實ニ、曼國政府ノ苦心、難情、不可名状モ、ナラシ、足下ノ疑團、最早、扶解スヘシト、叮嚀ニ、お進ヘシ、要人、彼等、辯論、汝ハ、其の實見、幸ハ、我意、意ヲ、充分、了解、汝ハ、其の實見、其の内話、姑ク、摺キ、大臣、要人、其の意、其の

五口上開國日本公使官

不承前日...

在案

明治二十三年十月三日臨時代理公使島村久



外務大臣伯大隈重信殿